

# ひなたぼっこ



## 1 設計趣旨

近年、少子高齢化が進み空家ストックが増えています。今回リノベーションする住宅も持ち主が高齢で施設に入ったことから空家になりました。そんな住宅をこどものための病後児保育施設としてコンバージョンし、困っている子育て世代を応援できる施設を提案します。

### 1-1 病後児保育施設とは

- ①病気の回復途中にあり通常の集団保育を受けることが難しいこども
- ②保護者の冠婚葬祭などの用事で家庭での保育ができないこどもを預かる保育サービスのことです。
- ・どうしても仕事を休めない時に、治りかけの子供を預けられる。
- ・看護師と保育士が常駐しているため安心して預けられる。
- ・比較的安価に利用できる
- といった利点がある施設です。

### 1-2 居場所がなく困っているこどもたちへ

全国的に病後児保育施設は増加傾向にありますが、人口に対する施設数は少ないのが現状です。大仙市には病児保育施設はありますが病後児保育施設はありません。病気や怪我が治りかけではあるものの、空きがなく病児保育施設にも保育園にも行けなくて困っているこどもたちの居場所となる施設を目指しました。

## 2 コンセプト ～リノベーションだからできる「心も体もあったかくなれるこどもの居場」～



### 住宅のような、安心してあったかいところ

病後児保育施設は**保育園**と違い、ここへ来る子は初めての場所で初めての先生、初めてのお友達と1日を過ごさなければならず不安でいっぱいです。リノベーション前の住宅の**雰囲気**を残すことであったかい安心できる空間を目指しました。

### あったかい太陽の光をたくさん浴びながら遊べる場所

病後児保育施設は**病児保育施設**とちがい、回復期の比較的元気なこどもを預かります。既存の縁側を残したり、ウッドデッキを加えたりと外へ誘導する機能があることで外で思いっきり遊んで元気になれる空間を目指しました。

## 3 住宅を守っていた敷地



敷地図

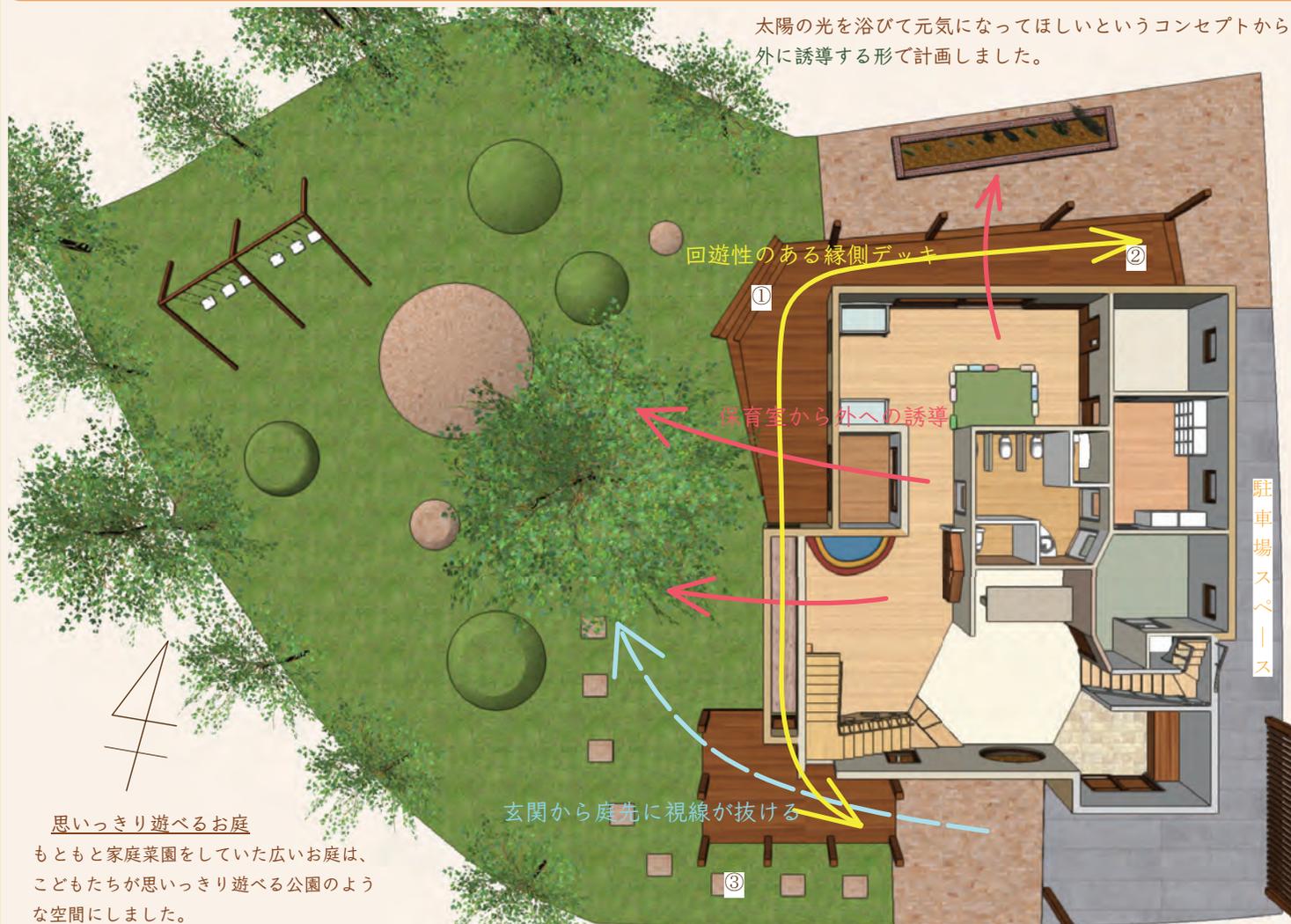


beforeの外観

### 大仙市花館中町

直径1km圏内に中学校、小学校、保育園があり比較的こどもが多い地域です。建物の周りは自然に囲まれています、少し移動すれば学校や店があり、住みやすい敷地です。建物は屋敷林に囲まれていて安心感があります。

太陽の光を浴びて元気になってほしいというコンセプトから外に誘導する形で計画しました。



思いっきり遊べるお庭

もともと家庭菜園をしていた広いお庭は、こどもたちが思いっきり遊べる公園のような空間にしました。

大小さまざまな丘ではかくれんぼをしたり、登ったりすべったり、避けながら走ったり、いろいろなことをして遊びます。

玄関から庭先に視線が抜ける

配置図 1:100

回遊性のある縁側デッキ

保育室から外への誘導

駐車スペース



①保育室に面している回遊性のあるデッキ  
奥には縁側があり、緩やかに外と中を繋いでいます。



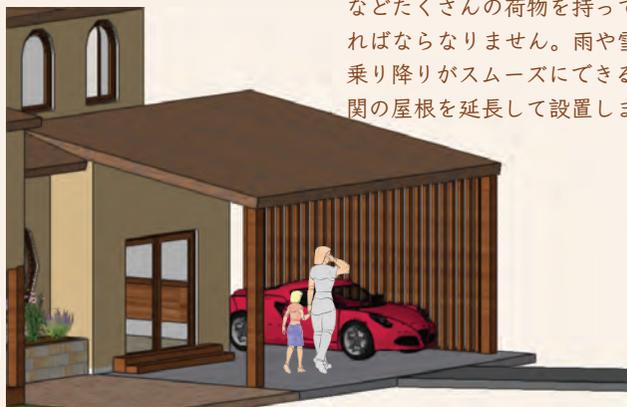
②片流れ屋根の下のデッキ  
保育室につながっており、目の前には花壇設置してこどもたちの興味をくすぐります。



③車庫の壁を取り払ったテラス  
不安を抱えながら初めてきた子「ここで遊んでみたい!」と思ってもらえるように、庭が目に入るように車庫の壁を取り払ってテラスにしました。

屋根の下で乗り降りできる玄関

病後児保育施設には着替えやお昼ご飯などたくさんの荷物を持っていかねければなりません。雨や雪の日でも乗り降りがスムーズにできるように玄関の屋根を延長して設置しました。

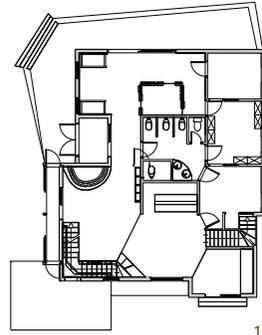


before

after



1:300



1:300

生かしたところ

2つある縁側はそのままの形で残し、外と中を柔らかくつなげる役割を果たしています。保育室の大部分が変わった和室の畳のうち一畳分をたたみコーナーとして生かしました。安静室も和室を生かし畳になっています。

変えたところ

廊下を無くし、面積を効率的に使えるようにしました。縁側に加えテラスを設置し、車庫だった部分の壁を外しテラスに生まれ変わらせました。

保育室

比較的元気な子どもがあそぶ部屋です。縁側やデッキに面しており、直接外へ出ることができます。保育室内にある階段の下は巣箱もリススペースとなっていて、かくれんぼをしたり落ち着いて本を読んだりするのに最適なスペースです。

トイレ

基本、保育園ではトイレを分散して配置しアクセスしやすいようにしていますが、本施設はそこまでの広さがないため、トイレを中央に配置しどの部屋からもアクセスできるようにしました。

処置室

病気や怪我の状態を定期的に確認する部屋。保育室から直接アクセスできます。

安静室

万が一、状態が悪化してしまったときに隔離をして看護師が看ながら親の迎えを待つ部屋です。

ホール

吹き抜けの大きさを拡大して南側の光がたくさん入る明るい空間になっています。特徴的な斜めの玄関は残し、それに並行して保育園の入り口を作ることで入ってきたときに「ここで遊んでみたい!」と思ってもらえるようにしました。

テラス

玄関に入る前にお庭が目に入るように、もともと車庫だったスペースの壁を取り払い、屋根付きのテラススペースにしました。天気のいい日はお昼ご飯をここで食べることもあります。



910 1820 2730 3640 4550 5460

2F平面図 1:100



④



⑤



⑥

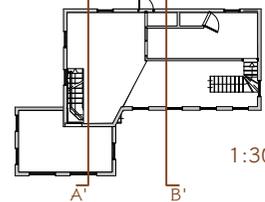
## 7 2F平面計画

before

after



1:300



1:300

### 生かしたところ

車庫の上の洋室は1Fと2Fの間の高さがあり、比較的静かな空間であったので、子どもがお昼寝をする時に使うおひるねーむに利用しました。

### 変えたところ

元々あった吹き抜けを拡大させ、ホールや2F保育室に光が差し込むようにしました。西側の階段は洋室にアクセスするだけのものでしたが、踊り場を経由し、おひるねーむにも2F保育室にもアクセスできるように階段の形を少し変えました。

X

### おひるねーむ

保育室内の階段を上がり、途中の踊り場から入れる秘密基地のような部屋。高さが違うので比較的静かにおひるねができる空間になっています。

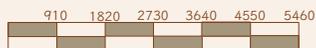
2F保育室  
そのへや

⑦

吹き抜け

2F保育室からふけ抜けを通してホールが見えます。お迎えに来たお父さんお母さんがすぐにわかり、新しいお友達が来た時に2階から歓迎することもできます。

おひるねーむ



2F平面図 1:100

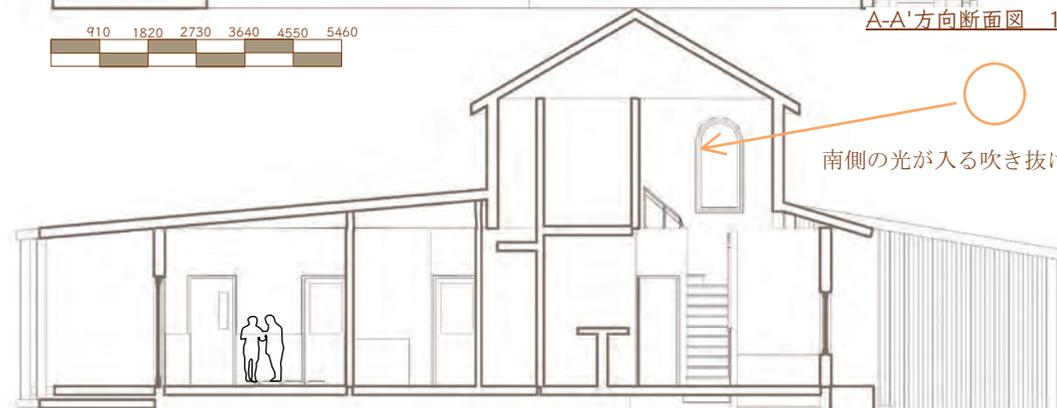
## 8 断面計画

周りとは高さが異なるおひるねーむ



片流れ屋根の縁側デッキ

A-A'方向断面図 1:100



南側の光が入る吹き抜け

B-B'方向断面図 1:100

## 9 立面図



東側立面図 1:200



北側立面図 1:200



西側立面図 1:200



南側立面図 1:200



⑦